

第3回

資料7

福井市地域生活交通活性化会議

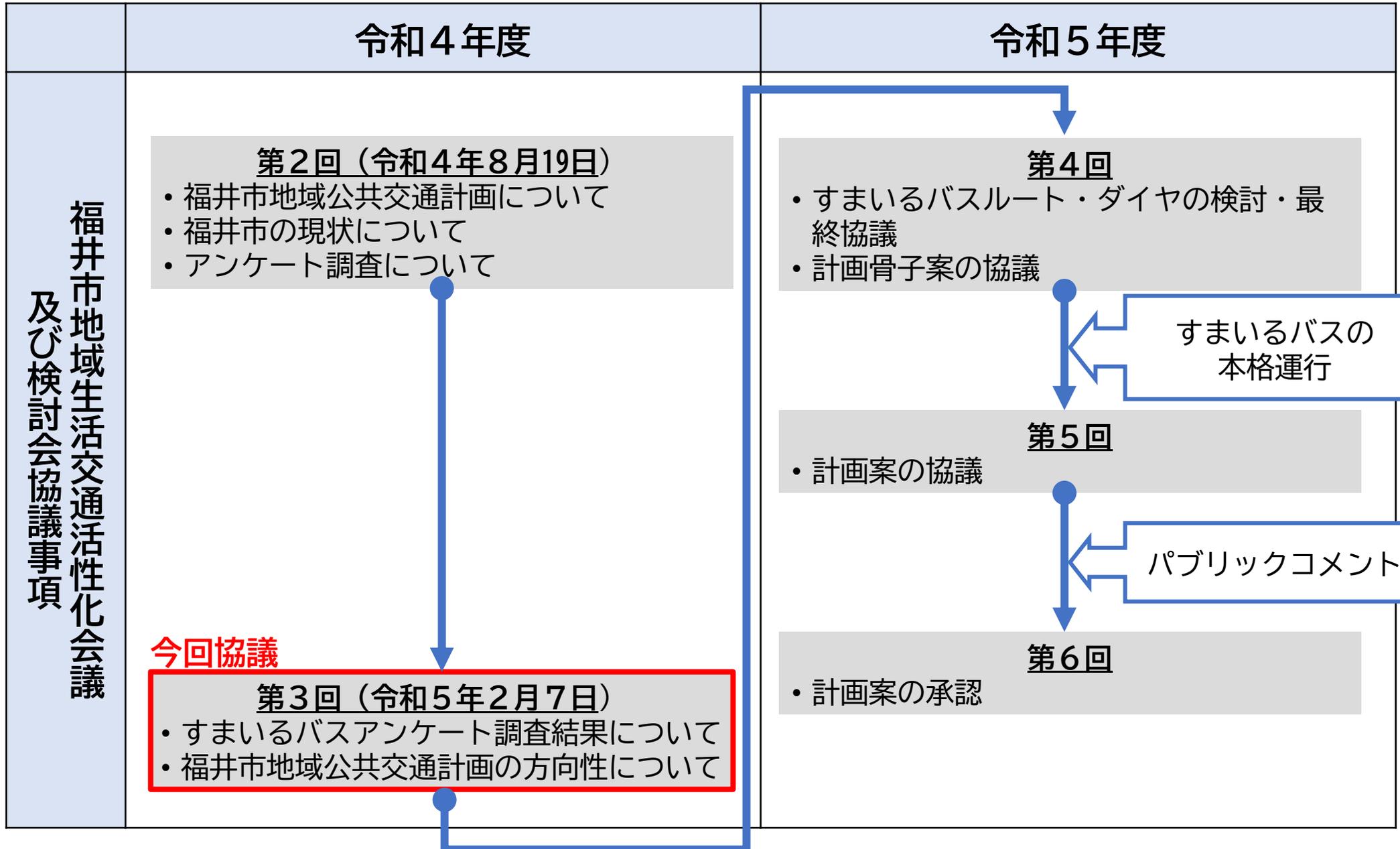
— 次 第 —

1. すまいるバスアンケート調査結果について
 - 1-1 調査概要
 - 1-2 調査結果
 - 1-3 結果概要
 - 1-4 ルートごとの分析

2. 福井市地域公共交通計画の方向性について
 - 2-1 福井市地域公共交通計画の位置付け（戦略との関係性）
 - 2-2 現況
 - 2-3 計画の方針と目標指標
 - 2-4 目標達成のために行う事業（素案）

3. 今後のスケジュール（案）について

令和5年2月7日



1-1 調査概要 (1) 利用者アンケート調査

・ 回収状況

平日調査、休日調査の2日間で402件のアンケート調査票を配布し、全体で287件の回収（回収率71%）であった。

南ルート（木田・板垣）以外の回収率は7割を超えている。

<ルート・回収方法別 回収状況>

ルート		回収方法			
		WEB	車内回収	郵送回収	総計
北ルート	田原・文京	13	59	10	82
西ルート	照手・足羽	6	45	19	70
南ルート	木田・板垣	8	33	9	50
東ルート	城東・日之出	1	71	13	85
総計		28	208	51	287

<ルート・調査日別 配布回収状況>

ルート		平日調査			休日調査			不明	計		
		配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率		回収数	配布数	回収数
北ルート	田原・文京	58	44	76%	47	38	81%		105	82	78%
西ルート	照手・足羽	51	37	73%	42	31	74%	2	93	70	75%
南ルート	木田・板垣	53	28	53%	43	22	51%		96	50	52%
東ルート	城東・日之出	59	48	81%	49	37	76%		108	85	79%
総計		221	157	71%	181	128	71%	2	402	287	71%

1. すまいるバスアンケート調査結果について

1-1 調査概要 (2) 住民アンケート調査

調査目的

すまいるバスの運行ルート及びダイヤを見直すため、すまいるバスの沿線住民を対象に現在の利用状況、今後の利用意向、すまいるバスに対する評価などについてアンケートを実施し、意向を把握、整理した。

調査方法

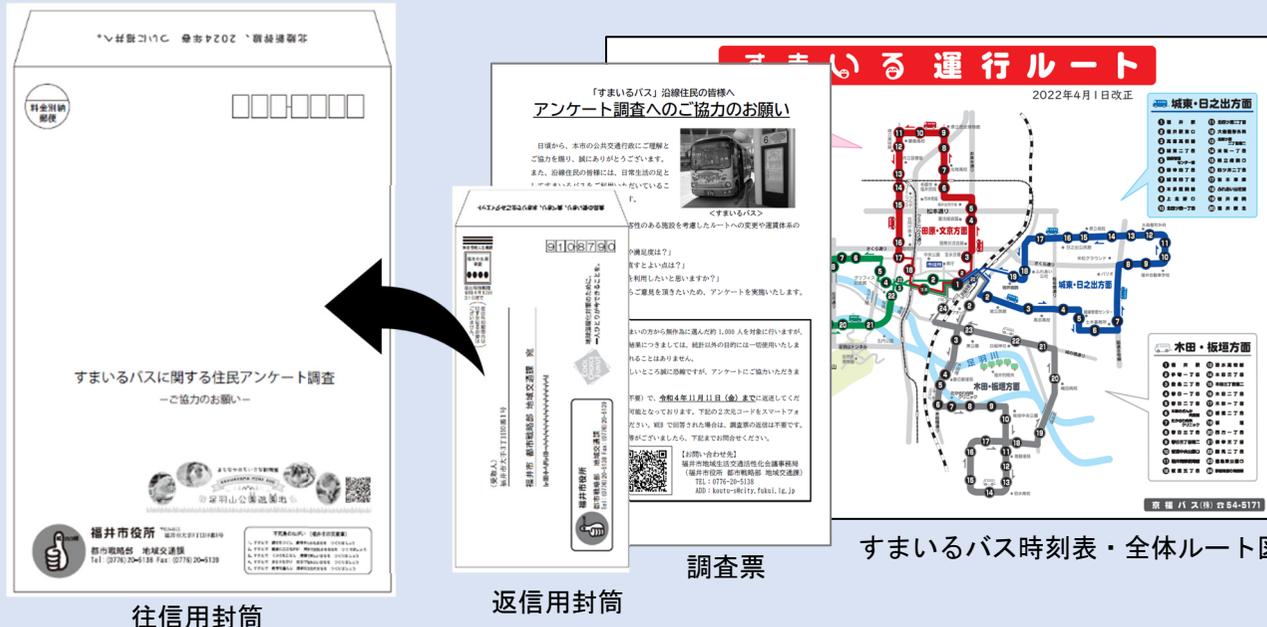
調査時期：（発送日）令和4年10月31日（月）

（締切日）令和4年11月11日（金）10日間程度

配布方法：すまいるバス沿線の15歳以上の市民1,000人を住民基本台帳から無作為抽出し、郵送配布及び郵送回収またはWEB回答（調査票に二次元コードを印刷）とした。

配布物：・往信用封筒（角2封筒）

- ・すまいるバス 時刻表・全体ルート図
- ・調査票（A4版：8頁）
- ・返信用封筒



- ・個人属性
- ・すまいるバスの利用状況
- ・すまいるバスの満足度
- ・すまいるバスの意向
（運行ダイヤ・運賃・運行範囲）
など

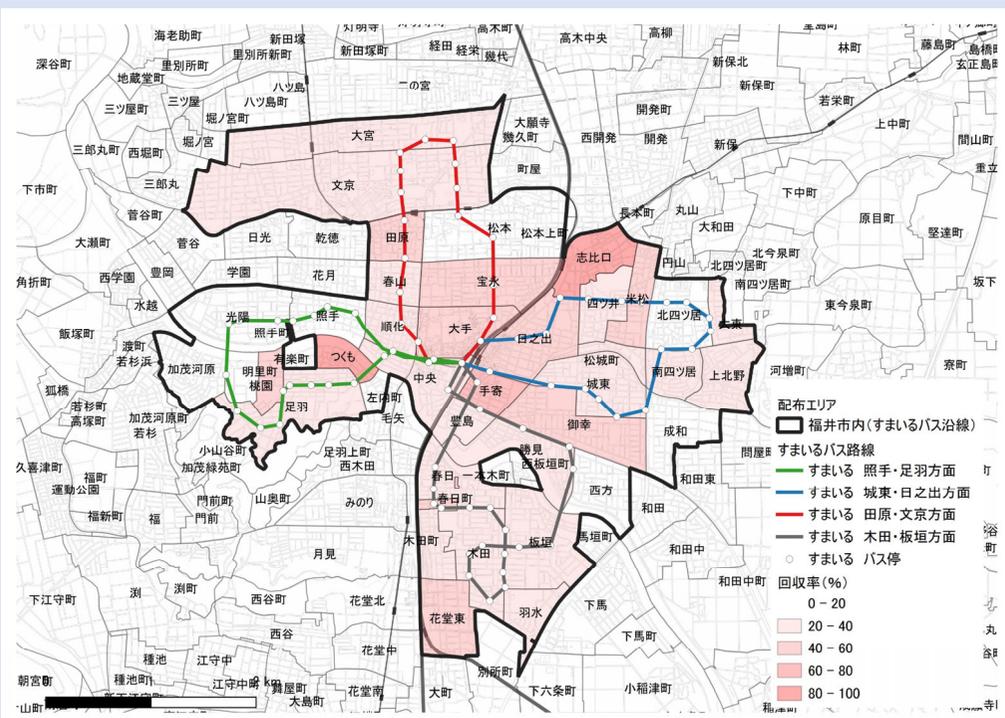
1. すまいるバスアンケート調査結果について

1-1 調査概要 (2) 住民アンケート調査

回収状況

全体の回答件数は合計363通、回収率36%であり、配布対象エリア（すまいるバス路線沿線）の回答件数は304通、回収率は30%であった。

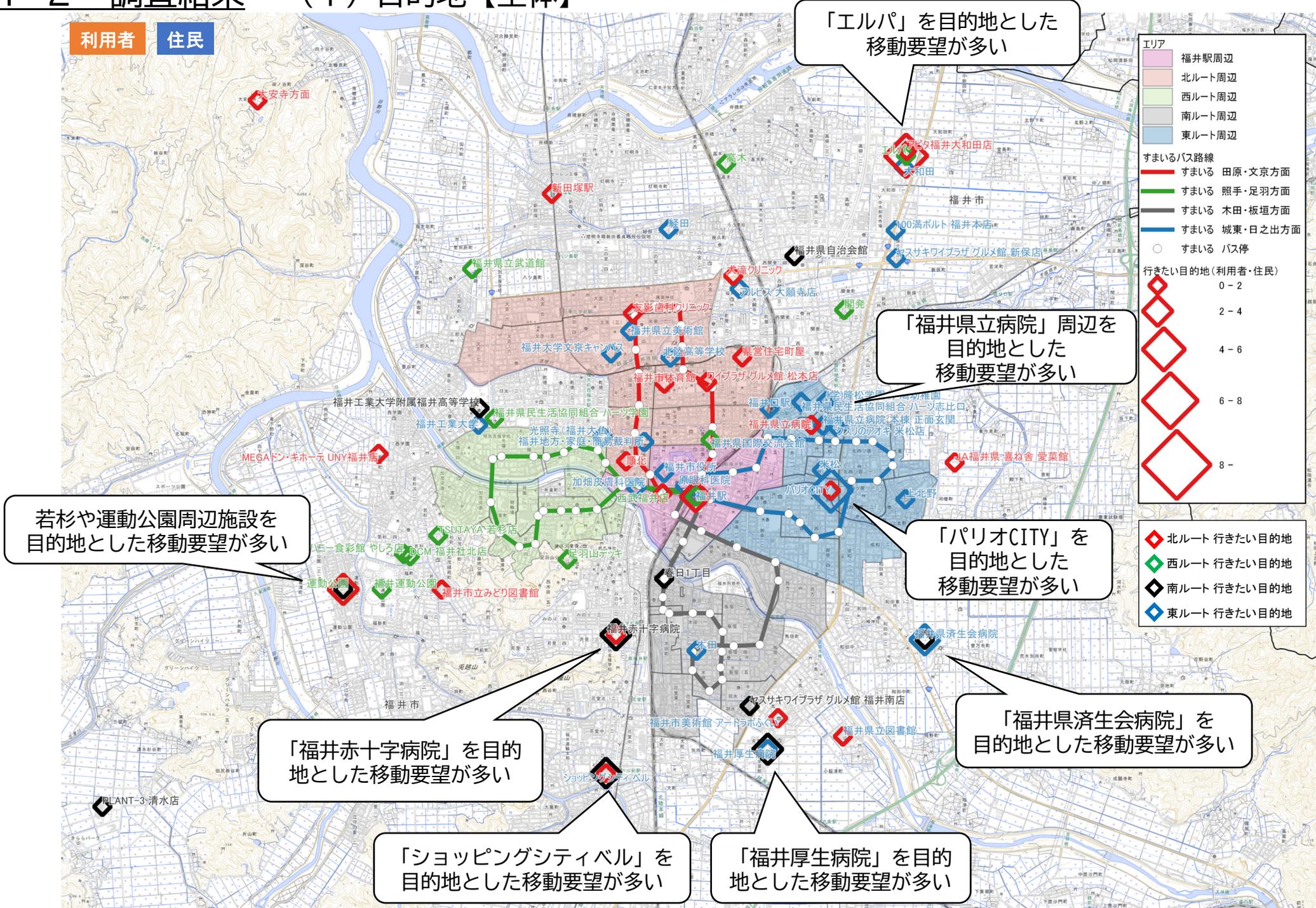
＜配布対象エリア回収率＞



エリア	町名	回答件数	配布数	回収率	エリア	町名	回答件数	配布数	回収率
福井駅周辺	手寄	11	15	73%	すまいるバス沿線外	みのり	3	0	—
	大手	7	17	41%		円山	1	0	—
	中央	8	29	28%		下馬	7	0	—
	日之出	21	49	43%		河増町	1	0	—
北ルート周辺	春山	8	20	40%	花月	8	0	—	
	順化	6	21	29%	学園	4	0	—	
	松本	11	55	20%	幾久町	2	0	—	
	大宮	17	42	40%	経田	1	0	—	
	田原	11	21	52%	若杉浜	2	0	—	
	文京	14	63	22%	西木田	2	0	—	
	宝永	14	25	56%	大町	1	0	—	
西ルート周辺	つくも	4	4	100%	東今泉町	2	0	—	
	加茂河原	1	7	14%	南四ツ居町	1	0	—	
	光陽	4	47	9%	二の宮	1	0	—	
	左内町	0	6	0%	日光	3	0	—	
	照手	5	32	16%	馬垣町	1	0	—	
	足羽	13	55	24%	北今泉町	1	0	—	
	桃園	2	4	50%	北四ツ居町	1	0	—	
南ルート周辺	明里町	1	7	14%	問屋町	1	0	—	
	羽水	1	3	33%	和田中	2	0	—	
	花堂東	3	6	50%	和田東	1	0	—	
	春日	13	36	36%	不明	不明	13	—	
	春日町	3	5	60%	総計		363	1000	36%
	勝見	13	34	38%					
	西方	1	12	8%					
東ルート周辺	板垣	16	55	29%					
	豊島	3	12	25%					
	木田	12	38	32%					
	木田町	6	23	26%					
	御幸	18	44	41%					
	四ツ井	4	18	22%					
	志比口	6	7	86%					
	松城町	2	6	33%					
上北野	5	23	22%						
城東	12	51	24%						
成和	2	16	13%						
大東	3	12	25%						
南四ツ居	5	22	23%						
米松	13	22	59%						
北四ツ居	5	36	14%						

1. すまいるバスアンケート調査結果について

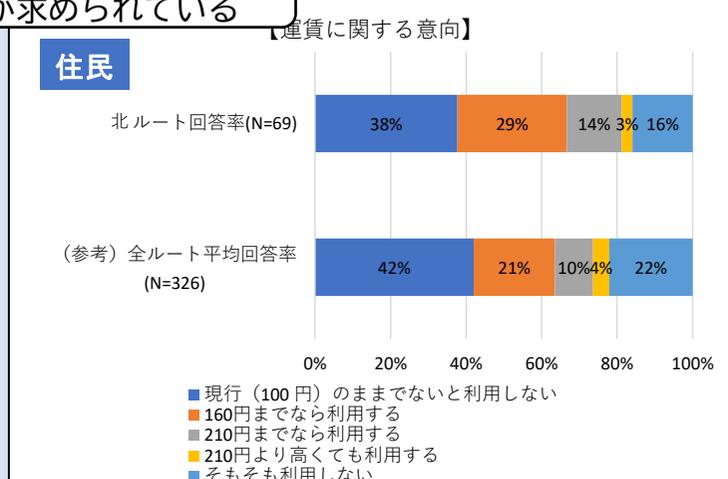
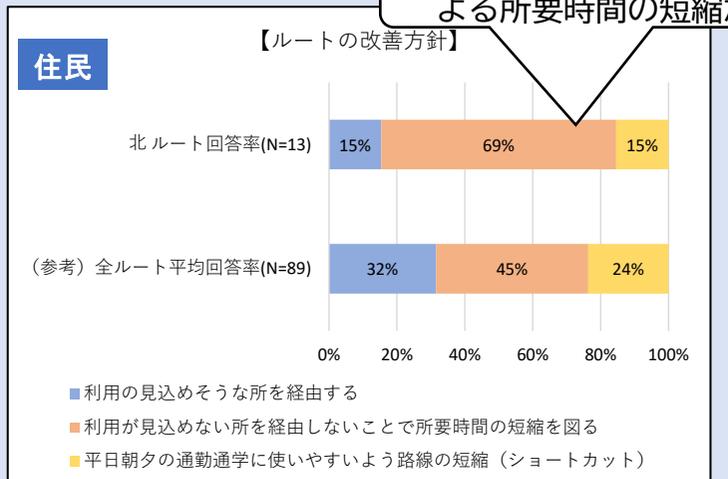
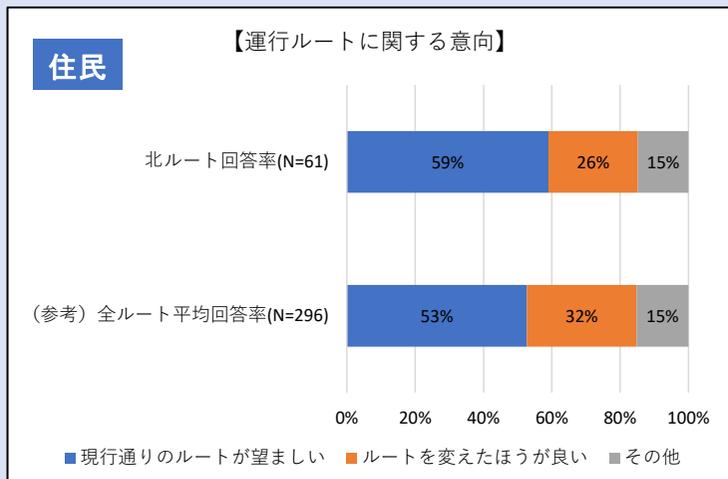
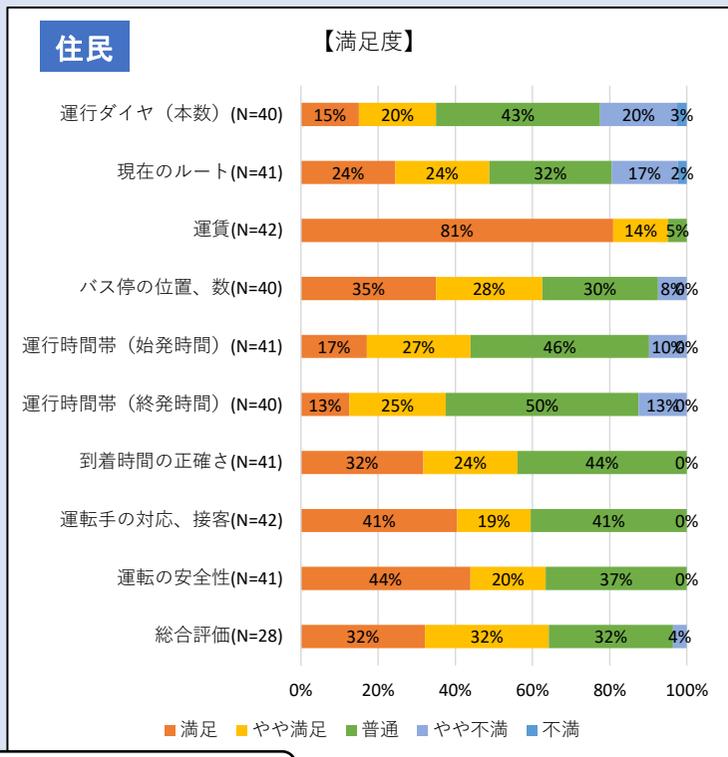
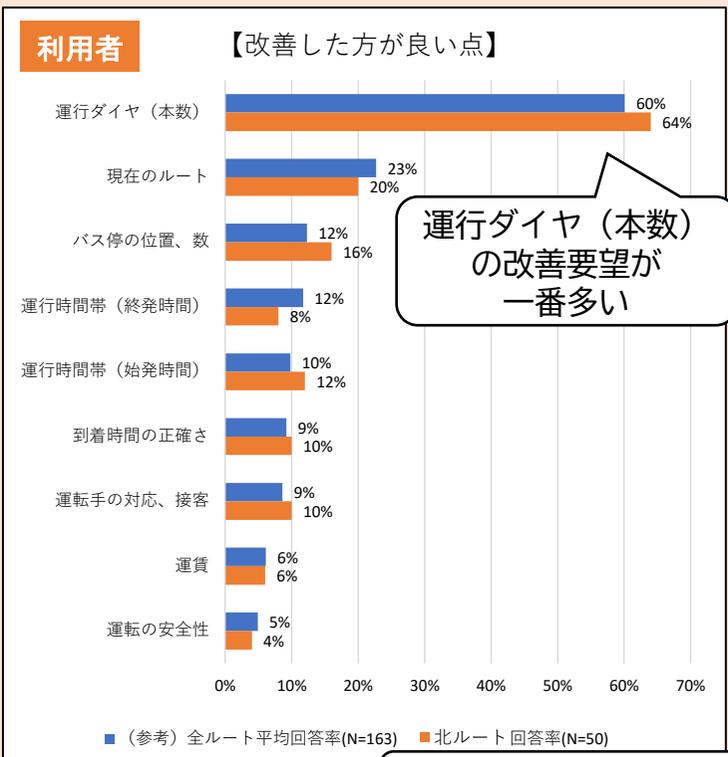
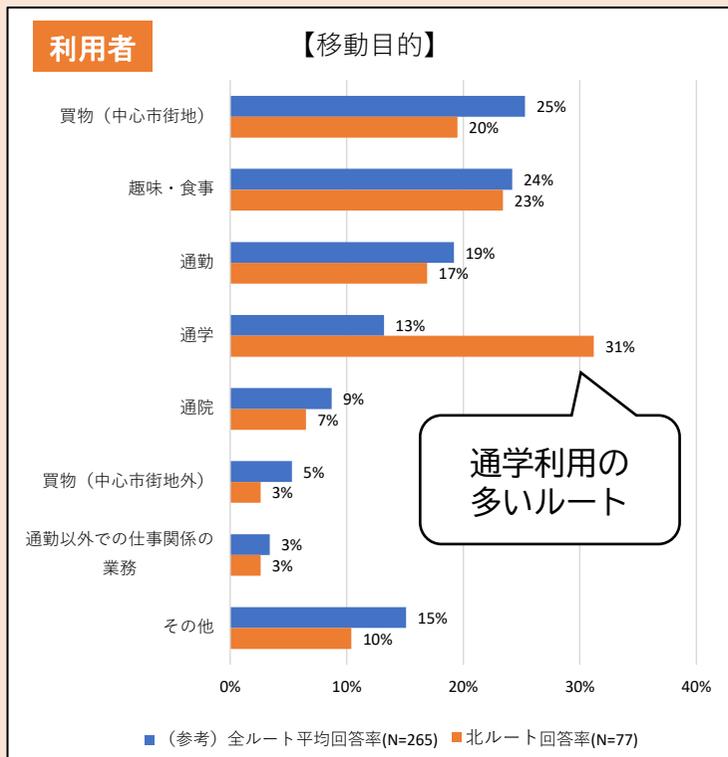
1-2 調査結果 (1) 目的地【全体】



1. すまいるバスアンケート調査結果について

1-2 調査結果 ①北ルート（田原・文京）

(1) 移動目的・改善点・満足度・ルートや運賃の意向



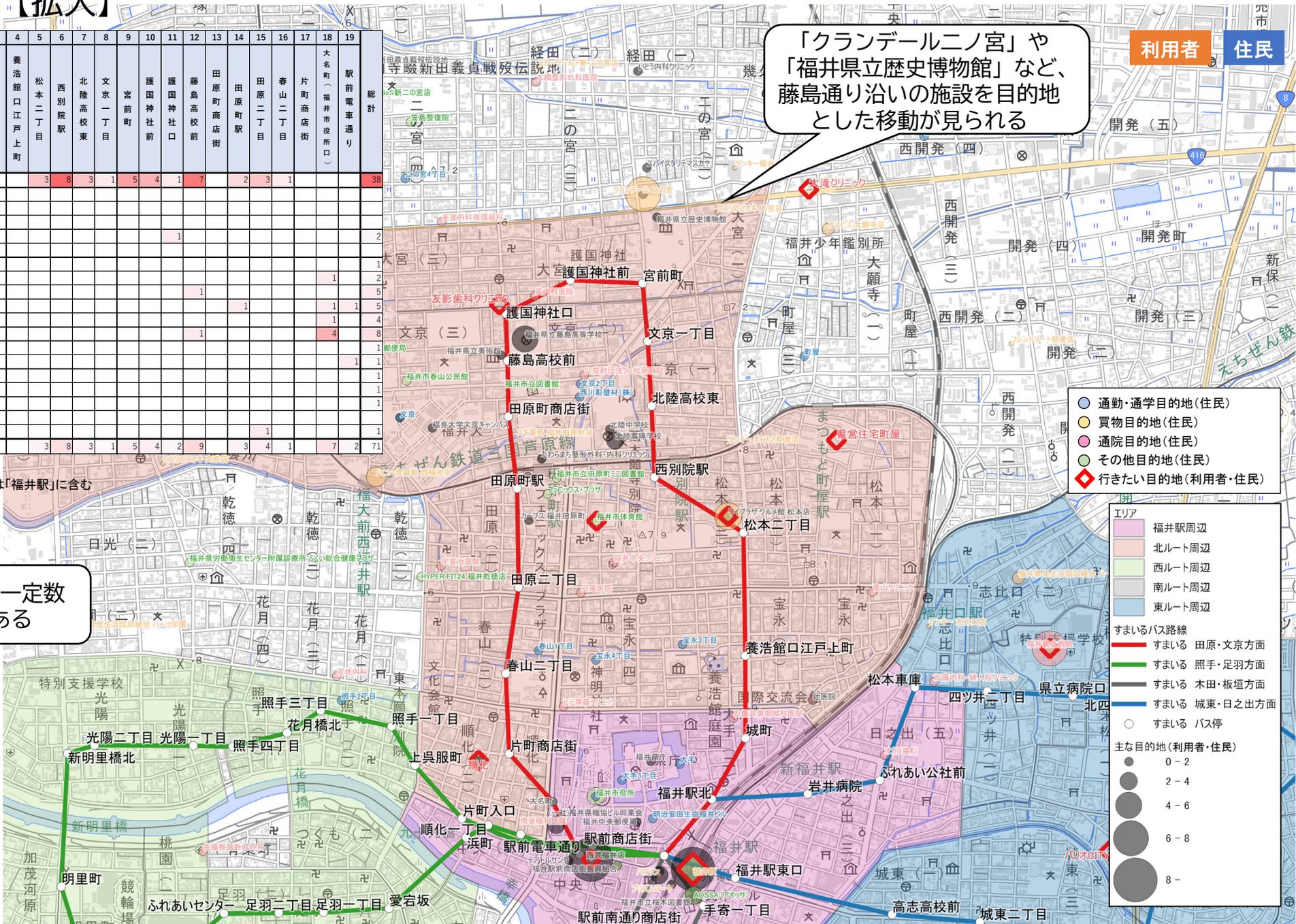
1-2 調査結果 ①北ルート（田原・文京）

(2) 目的地【拡大】

利用者	降車バス停																			総計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
乗車バス停	福井駅	福井駅北	城町	養浩館口江戸上町	松本二丁目	西別院駅	北陸高校東	文京一丁目	宮前町	護国神社前	護国神社口	藤島高校前	田原町商店街	田原町駅	田原二丁目	春山二丁目	片町商店街	大名町（福井市役所口）	駅前電車通り	38
1					3	8	3	1	5	4	1	7		2	3	1				2
2																				1
3																				1
4																				1
5	1																			1
6																				1
7																				1
8																				1
9	4																			4
10																				2
11																				1
12																				1
13																				1
14																				1
15																				1
16																				1
17																				1
18																				1
19																				1
総計	19				3	8	3	1	5	4	2	9		3	4	1		7	2	71

※平日調査・休日調査の合計
※「駅前」や「福井駅前」の回答は「福井駅」に含む

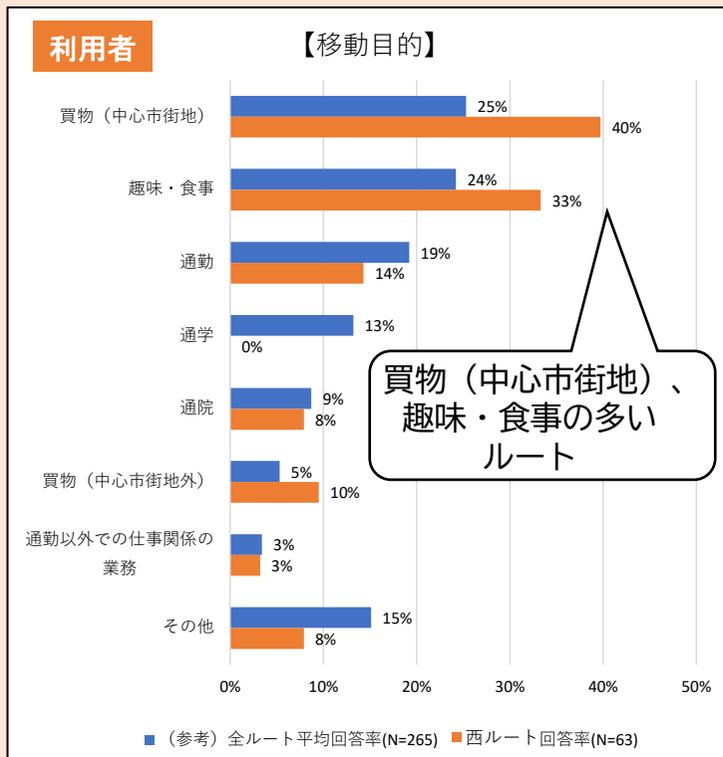
どのバス停も一定数の乗降がある



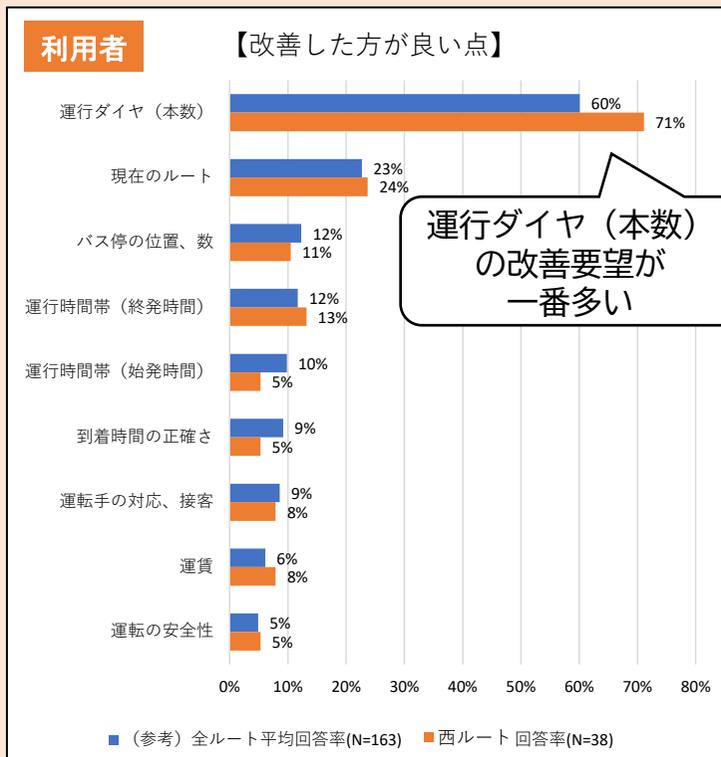
1. すまいるバスアンケート調査結果について

1-2 調査結果 ②西ルート（照手・足羽）

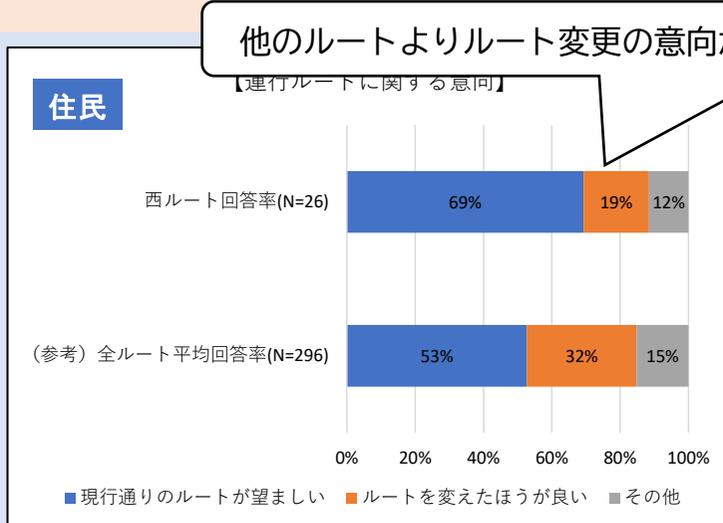
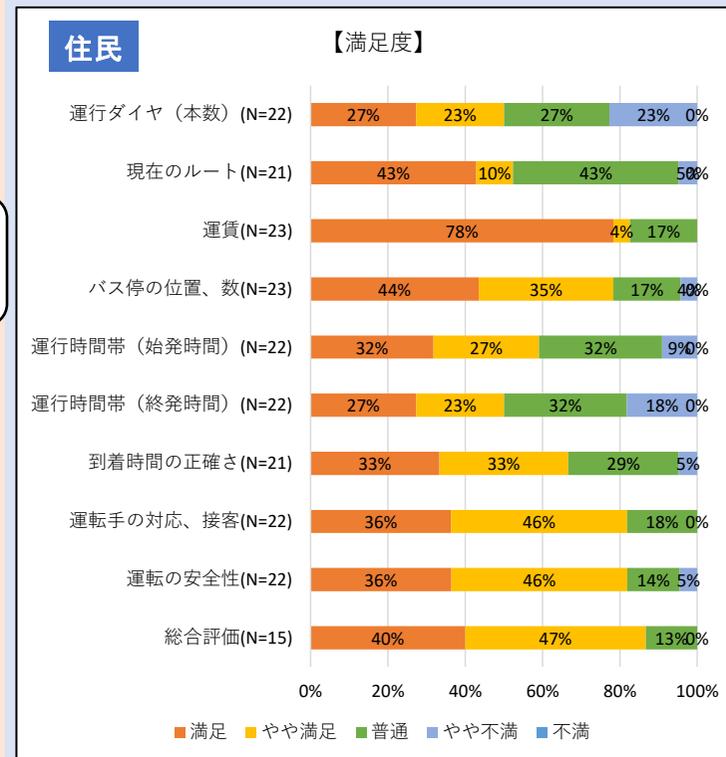
(1) 移動目的・改善点・満足度・ルートや運賃の意向



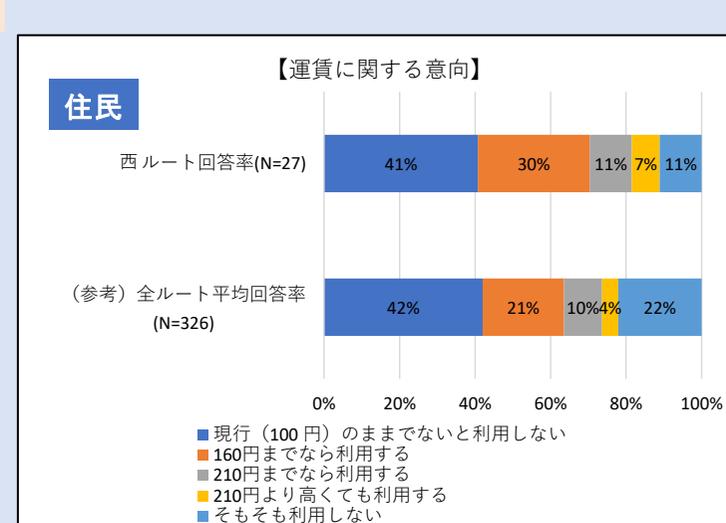
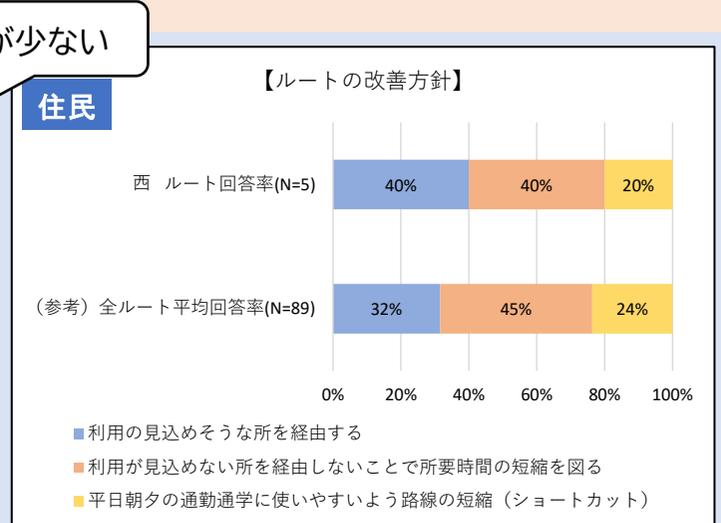
買物（中心市街地）、
趣味・食事の多い
ルート



運行ダイヤ（本数）
の改善要望が
一番多い



他のルートよりルート変更の意向が少ない

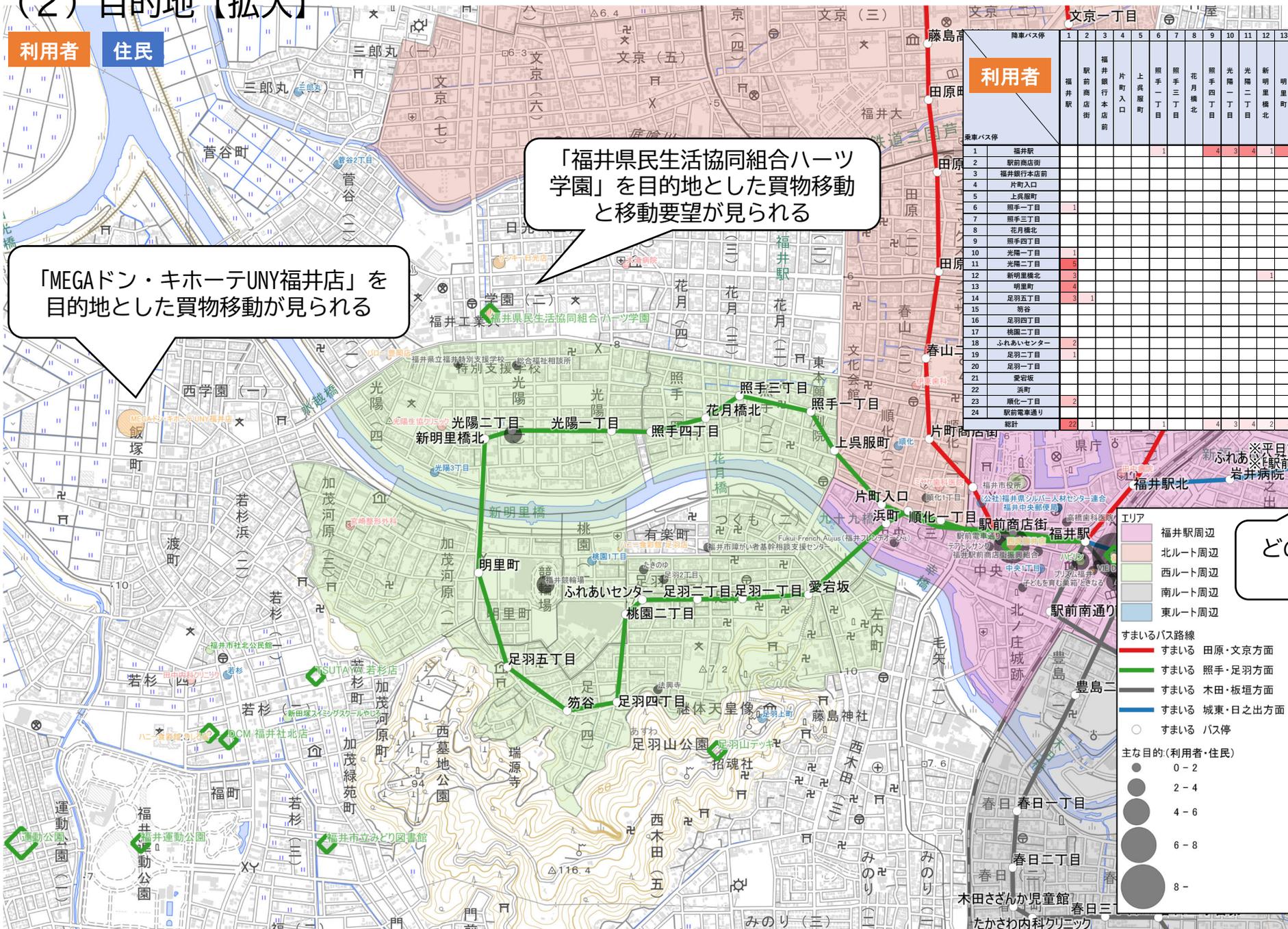


1. すまいるバスアンケート調査結果について

1-2 調査結果 ②西ルート（照手・足羽）

(2) 目的地【拡大】

利用者 住民



「MEGAドン・キホーテUNY福井店」を目的地とした買物移動が見られる

「福井県民生活協同組合ハーツ学園」を目的地とした買物移動と移動要望が見られる

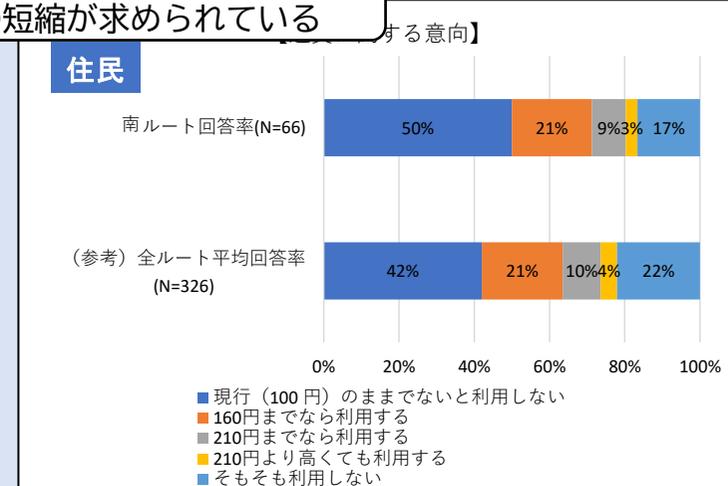
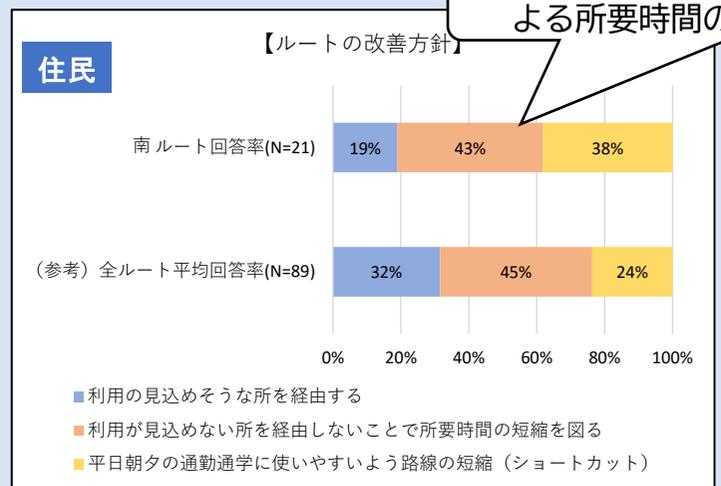
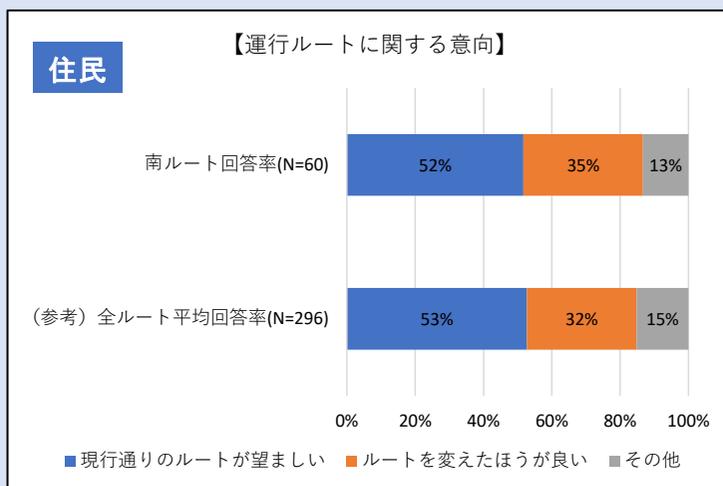
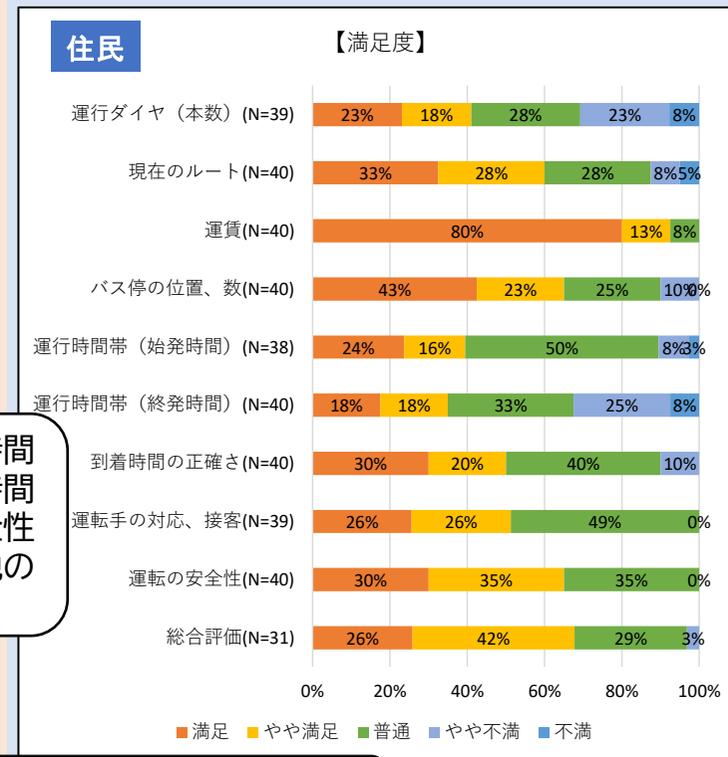
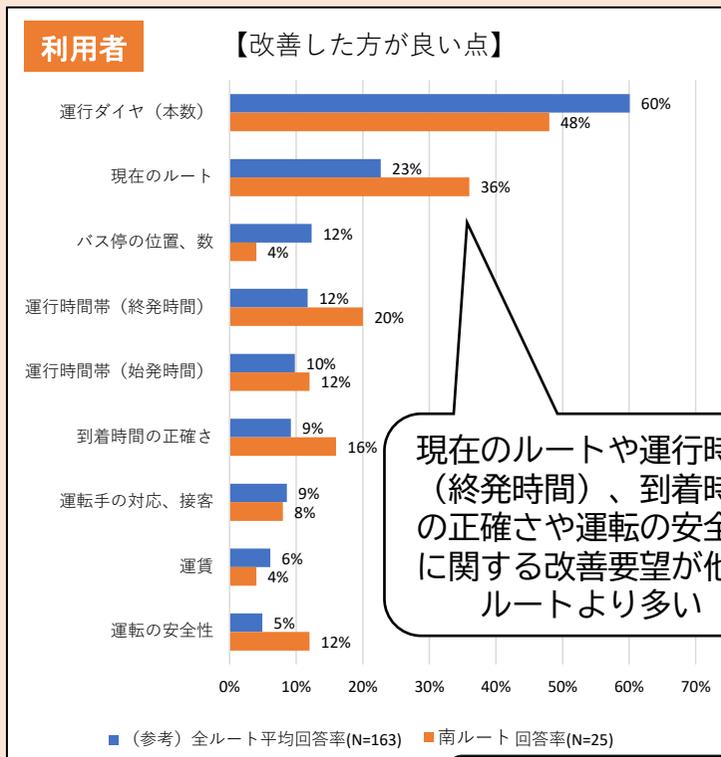
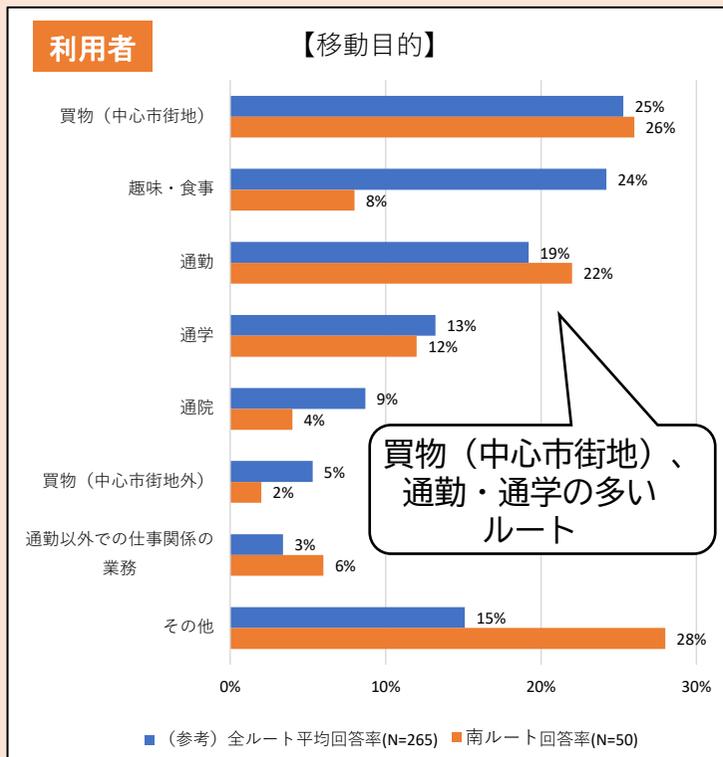
乗車バス停	利用者																							乗車バス停
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
1 福井駅																								
2 駅前商店街																								
3 福井銀行本店前																								
4 片町入口																								
5 上原服町																								
6 照手一丁目	1																						1	
7 照手三丁目																								
8 花月橋北																								
9 照手四丁目																								
10 光陽一丁目	1																						1	
11 光陽二丁目	3																						3	
12 新明里橋北	3																						3	
13 明里町	4																						4	
14 足羽五丁目	3	1																					4	
15 笏谷																								
16 足羽四丁目																								
17 桃園二丁目																								
18 ふれあいセンター	2																						2	
19 足羽二丁目	1																						1	
20 足羽一丁目																								
21 愛宕坂																								
22 浜町																								
23 順化一丁目	2																						2	
24 駅前大通り																								
総計	22	1																					24	

どのバス停も一定数の乗降がある

- ※平日調査・休日調査の合計
※ふれあいセンター前や「福井駅前」の回答は「福井駅」を含む
- エリア
- 福井駅周辺
 - 北ルート周辺
 - 西ルート周辺
 - 南ルート周辺
 - 東ルート周辺
- すまいるバス路線
- すまいる 田原・文京方面
 - すまいる 照手・足羽方面
 - すまいる 木田・板垣方面
 - すまいる 城東・日之出方面
 - すまいる バス停
- 主な目的(利用者・住民)
- 0-2
 - 2-4
 - 4-6
 - 6-8
 - 8-
- 目的地
- 通勤・通学目的地(住民)
 - 買物目的地(住民)
 - 通院目的地(住民)
 - その他目的地(住民)
 - 行きたい目的地(利用者・住民)

1-2 調査結果 ③南ルート（木田・板垣）

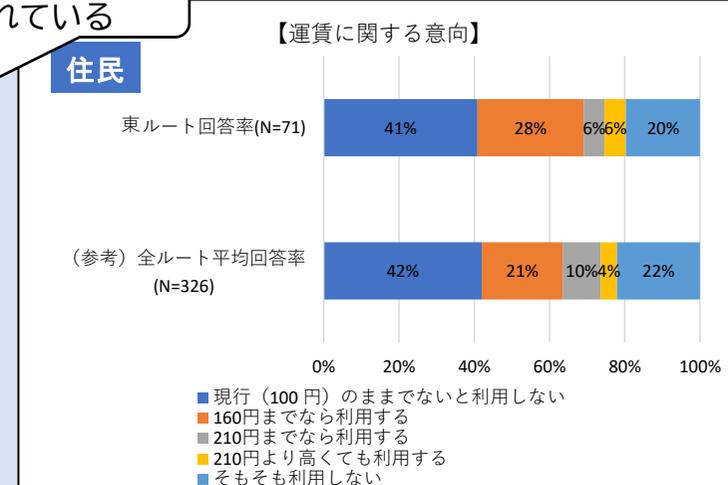
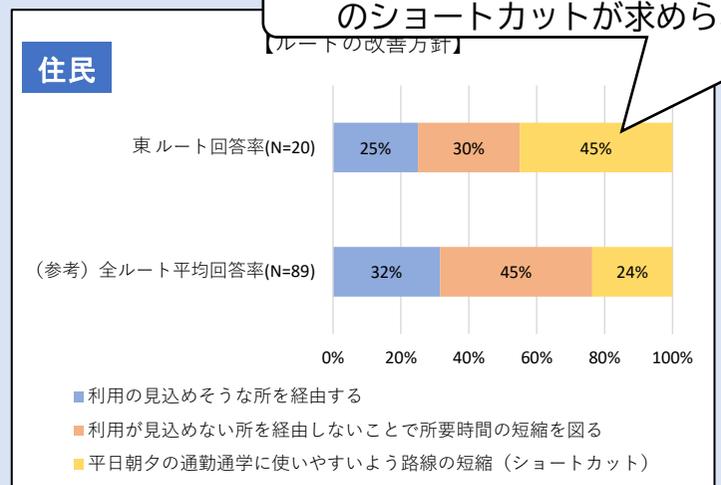
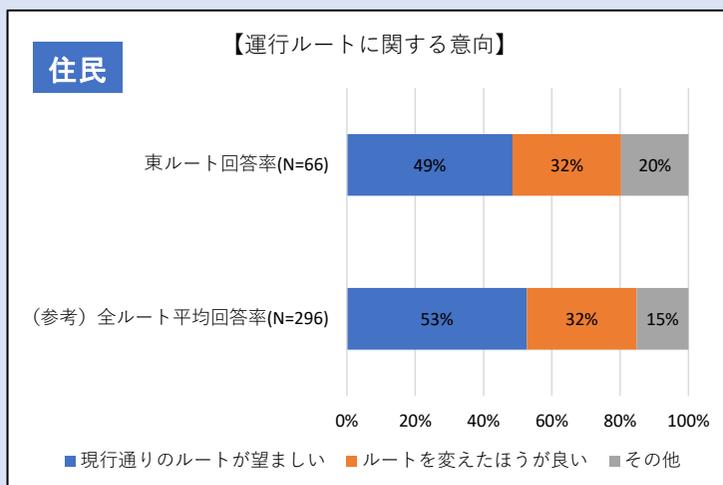
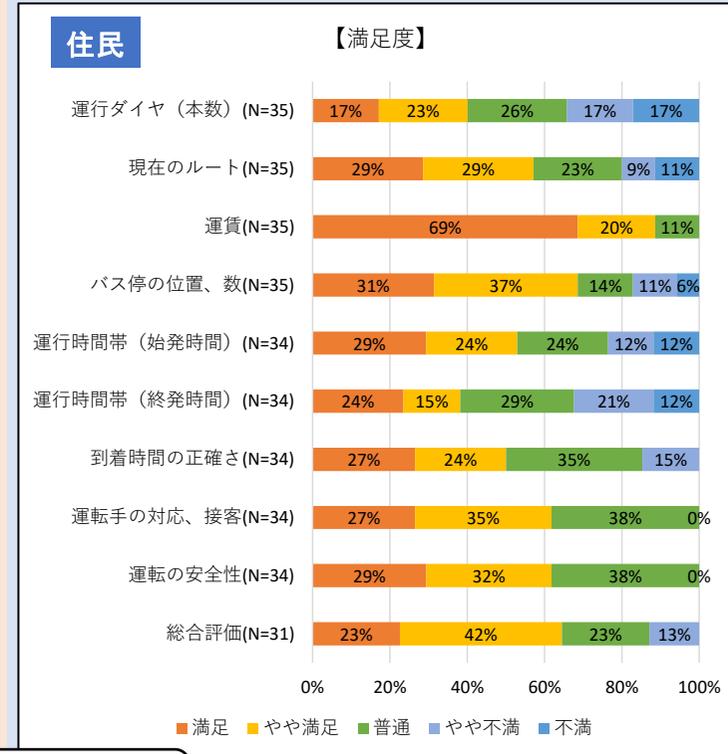
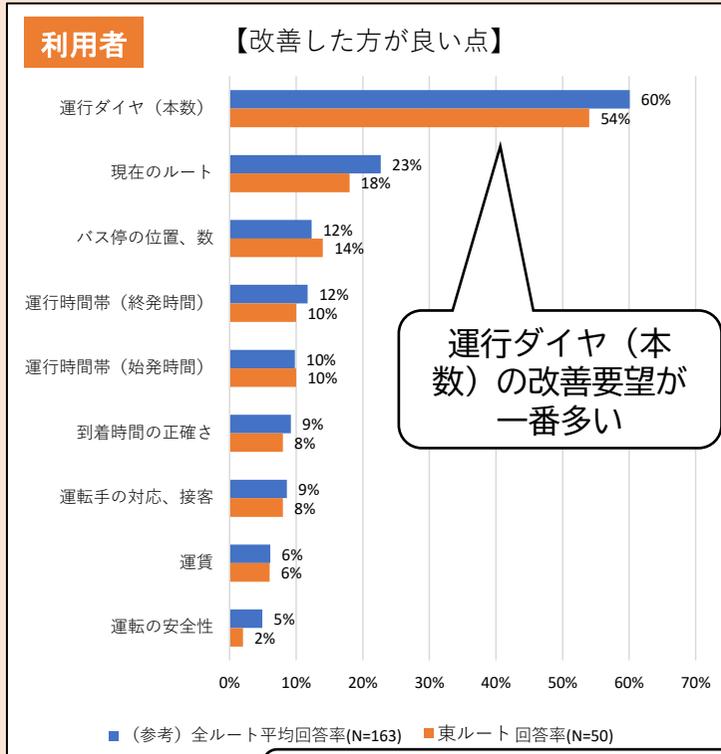
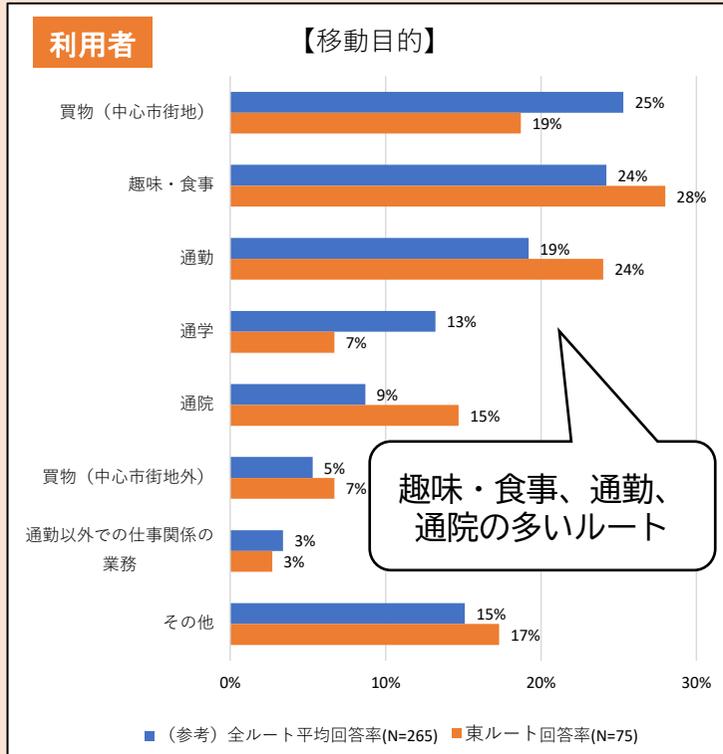
(1) 移動目的・改善点・満足度・ルートや運賃の意向



ルートを変えてとしても、経由地の削減による所要時間の短縮が求められている

1-2 調査結果 ④東ルート（城東・日之出）

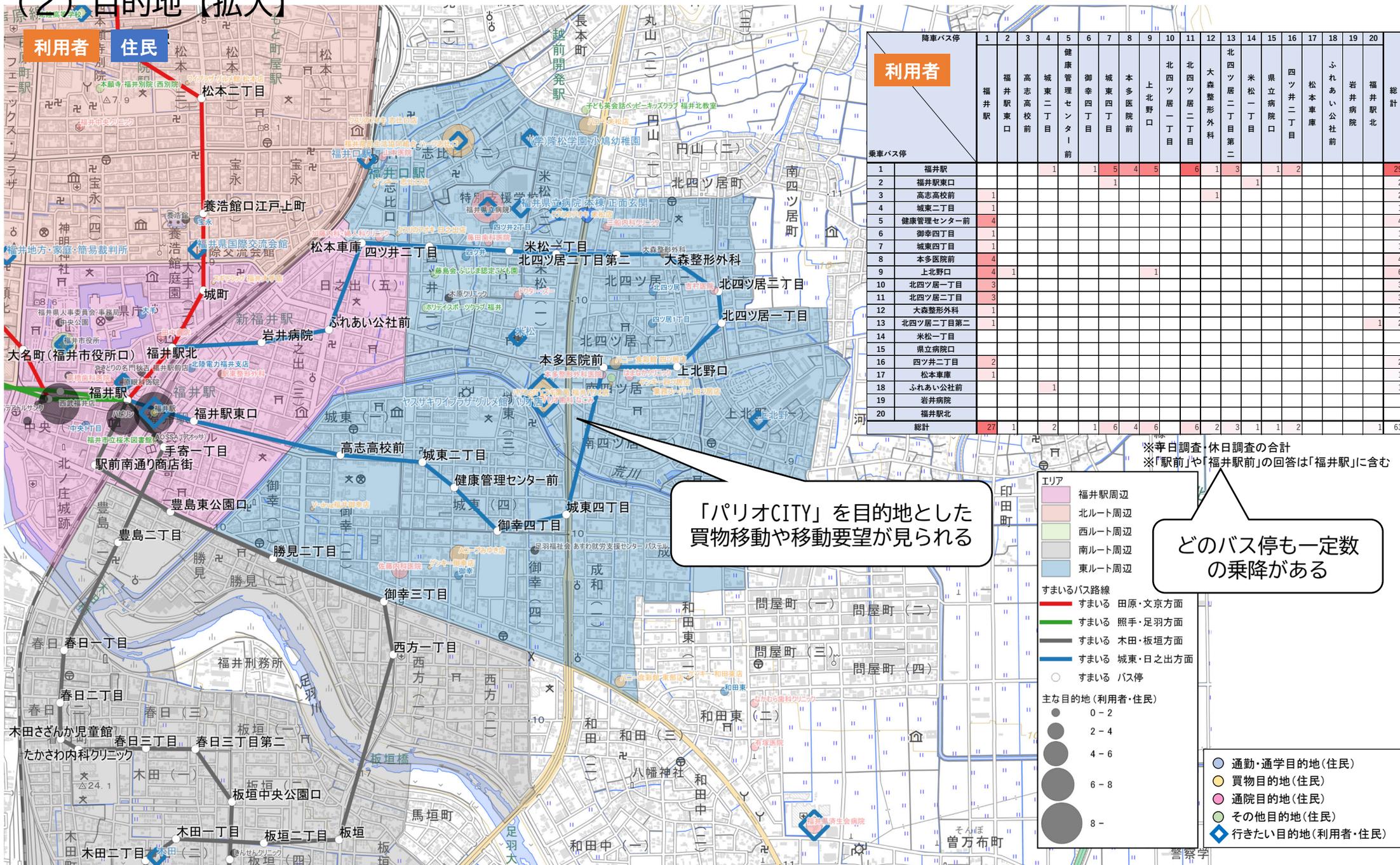
(1) 移動目的・改善点・満足度・ルートや運賃の意向



1. すまいるバスアンケート調査結果について

1-2 調査結果 ④東ルート（城東・日之出）

(2) 目的地【拡大】



1-3 結果概要

【すまいるバス利用者】

- 利用者の年齢層：北・南は10代の利用（主に通学）、西・東は高齢者層の利用（主に買い物）が多い。
- 利用属性：平日は福井駅周辺や沿線の学校など、通勤・通学や買物を中心とした移動が多く、休日は福井駅周辺や沿線店舗など趣味・食事や買物を中心とした移動が多い。
- 利用者の利用頻度：全体の約6割が「1週間に1回以上」、ヘビーユーザーの利用も見られる。
- 改善すべき点：「運行ダイヤ（本数）」が最も多く、次いで「ルート」「バス停の位置、数」「運行時間（終発時間）」と続く。
- すまいるバスに対する意見：満足しているとの声が多く寄せられる一方、運行本数の増便や所要時間の短縮、運賃の維持やキャッシュレス化対応への要望も見られる。

【すまいるバス沿線住民】

- 住民の通勤・通学先：中心市街地への通勤・通学が多いが、手段としては自家用車が最も多く、公共交通利用は1割程度。
- 日常生活の移動先：買い物はパリオCITY、生協ハーツ、通院は県立病院や済生会病院、赤十字病院など。いずれも自家用車による交通が大部分で、公共交通利用は2割程度。
- すまいるバスの利用状況：まったく利用しない人が51%、年に数回が24%、1週間に数回以上は7%程度にとどまる。利用する理由としては、低廉な運賃、ルートが便利（福井駅に行く時）、バス停が近くにある、など。逆に利用しない理由は、自家用車のほうが便利、バス停が近くにない、など。
- 運行ルートについて、「現行通りのルートが望ましい」との意見が半数以上。「ルートを変えた方が良い」という意見の中では、「利用が見込めない所を經由しないことで所要時間の短縮を図る」が最も多い。
- すまいるバスに今後あったほうが良いサービスとして、交通系ICカードの導入が最も多い。

1-4 ルートごとの分析

①北ルート（田原・文京）

現状

- 北ルートの沿線住民は、買物で「クランデールニノ宮」を利用することが多く、「クランデールニノ宮」や「福井県立歴史博物館」など、藤島通り沿いの施設を目的地とした移動が見られる。

②西ルート（照手・足羽）

現状

- 西ルートは、他のルートよりルート変更の意向が少ない。

③南ルート（木田・板垣）

現状

- 南ルートは、他のルートより現在のルートに関する改善要望が多い。

④東ルート（城東・日之出）

現状

- 東ルートの沿線住民は、買物で「パリオCITY」を利用することが多く、「パリオCITY」を目的地とした移動要望が見られる。

分析結果

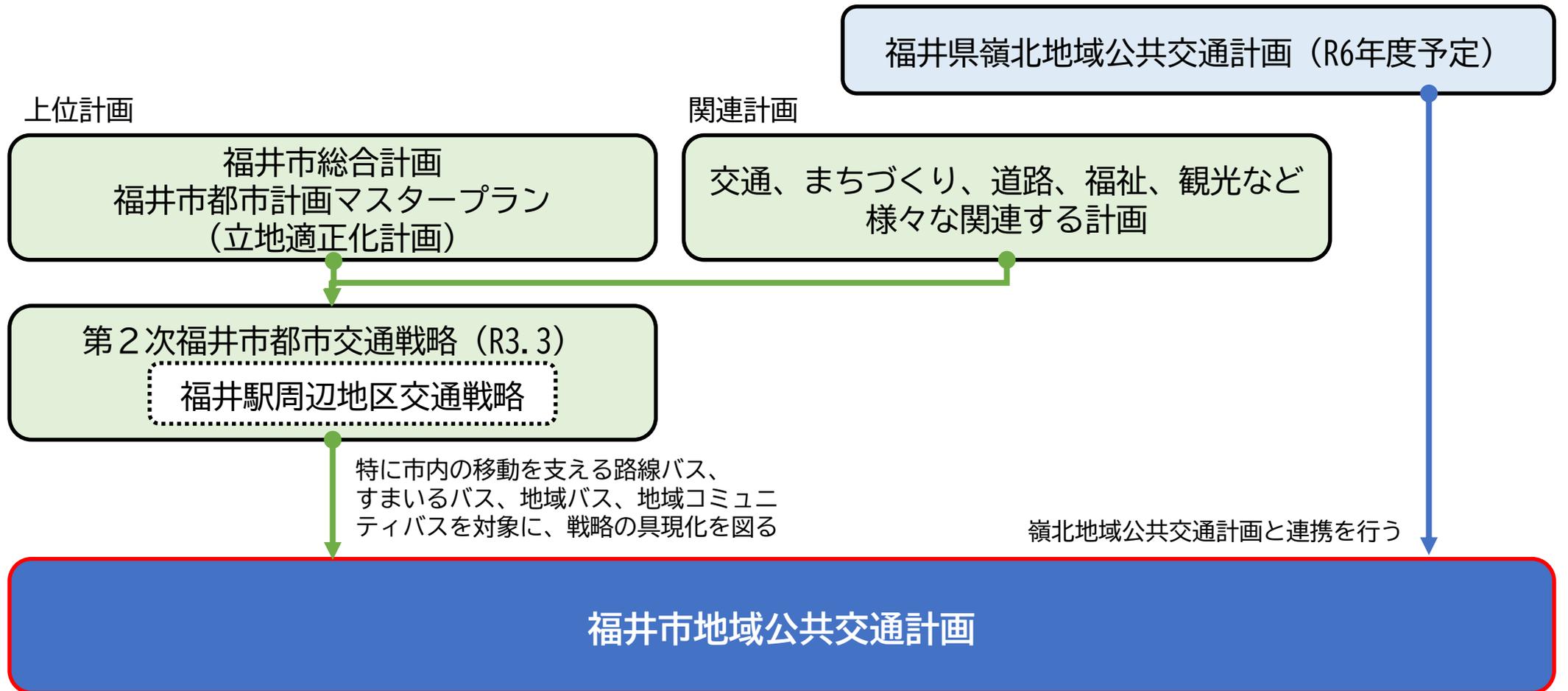
- 買い物・病院の移動需要が多いため、それに沿ったルートを検討する
- 平日朝晩のルートを短縮する
- 朝・晩で別のルートを設定する

→今後、地元や関係機関と協議してルートを検討していきたい

2-1 福井市地域公共交通計画の位置付け（戦略との関係性）

○ 都市交通戦略と今回策定の地域公共交通計画の関係性

- ・ 福井市は北陸新幹線開業を控えており、その効果を波及させるためには、路線バス等の二次交通の充実が重要であるため、令和2年度に交通政策における目標及び施策をまとめた第2次福井市都市交通戦略を策定した。
- ・ 都市交通戦略で掲げた公共交通関連施策のうち、**特に市内の移動を支える路線バス、すまいるバス、地域バス、地域コミュニティバスを対象に、戦略の具現化を図る。**
- ・ 福井県嶺北地域公共交通活性化協議会が策定する、福井県嶺北地域における広域的な地域公共交通に関する福井県嶺北地域公共交通計画との連携を行う。



2-2 現況

○ 都市交通戦略の課題に沿って、福井市地域公共交通計画の課題を整理。

課題1 人口減少・高齢化への対応と自動車依存からの脱却

- まちなか地区へ人を呼び戻す
- 高齢者の免許返納支援
- 自動車依存からの脱却

課題2 北陸新幹線福井開業へ向けた公共交通の充実

- 増加する観光・ビジネス交通に対応する公共交通の利用環境整備・向上
- 並行在来線の利便性向上、地域による維持存続

課題3 「全域交通ネットワーク」の更なる充実

- 中心市街地と地域拠点間や地域毎の目指すべき公共交通サービス水準の維持・確保
- 路線バスやフィーダー交通を活用した公共交通空白地域への対応
- 環境にやさしいまちづくりへの貢献

課題4 地域拠点、乗継拠点の整備

- 地域拠点、乗継拠点の整備
- 交通結節点としての機能強化

課題5 公共交通利用環境の向上

- キャッシュレス化、MaaSの導入検討
- 待合環境の改善
- バスの定時性確保
- 市中心部の適正なバス路線の配置
- 公共交通の担い手の確保

課題6 モビリティ・マネジメント

- NPOや交通事業者などの多様な主体と協働した働きかけによる利用者の意識改革

○ すまいるバスについては、ルートごとに課題を整理し、目標指標を設定する。

①北ルート（田原・文京）

- ・ 運行時間帯（終発時間19:20福井駅発）への満足度が低い。

②西ルート（照手・足羽）

- ・ 運行ダイヤ（本数）への改善要望が多い。
- ・ 自家用車・自転車利用が便利ですまいるバスを利用しない人（特に通院）が多い。
- ・ 令和4年度利用者数の前年比減少率（-12.5%）が一番大きい。

③南ルート（木田・板垣）

- ・ 現在のルート、運行時間帯（終発時間19:50福井駅発）への改善要望が多い。

④東ルート（城東・日之出）

- ・ パリオ、県立病院（正面玄関前）への移動要望が多いが、経由していない。
- ・ 沿線住民の通院は自家用車利用が多い。
- ・ 運行時間帯（始発時間7:15福井駅発）への満足度が低い。
- ・ 平日朝夕の通勤・通学に使いやすいよう路線の短縮への要望が多い。

2-2 現況（前回報告「福井市の現状について」）

【人口・社会経済状況】

- ・ 市内総人口は既に減少が始まっているが、周辺市街地で人口が増加する一方、中心市街地で減少するというドーナツ化が進んでいる。また、農山漁村地域（特に沿岸部や山間部）は人口減の割合が多くなっている。
- ・ 人口が増加傾向にある周辺市街地では、比較的高齢化率が低く、若い世代が周辺市街地に定着しているといえる。しかし、山間部や沿岸部においては、高齢化が著しく進行している。

【道路交通・交通事故】

- ・ 福井市の自家用乗用車の保有台数は年々増加しているが、福井市内の主要な道路における観測交通量は、全体として減少傾向にある。（新規道路の開通なども一因か）
- ・ 人身事故の発生件数は減少傾向であり、高齢者が第一当事者となる事故は、件数は減少傾向にあるものの、事故全体に占める高齢者の割合は微増傾向にある。高齢ドライバーによる事故割合の増加に伴い、高齢者の自動車運転免許の自主返納を推進している。

【公共交通ネットワーク】

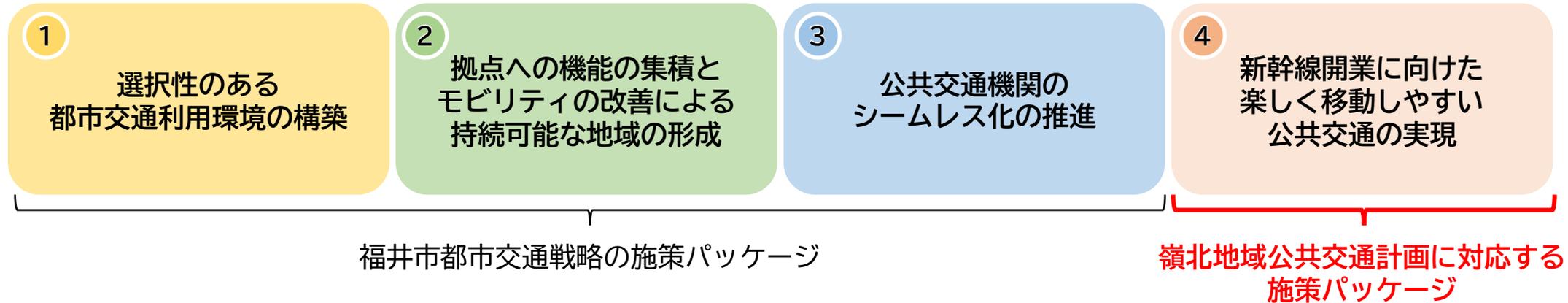
- ・ 福井駅を中心とした鉄軌道及び市内各方面への路線バスと、中心市街地を運行するすまいるバス、地域拠点と周辺地域をつなぐフィーダー交通等により、概ね市内全域の移動をカバーしている。
- ・ 福井市の中心市街地周辺では、バス路線や運行本数が充実している一方で、郊外部や山間部においては、バスの運行本数が1桁台となっている。

都市交通戦略後のコロナの影響による課題

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、鉄道及び路線バスの令和2年度の輸送人員は、令和元年度に比べ鉄道が4割程度、バスが3割程度の減少となっており、令和3年度でも回復していない。地域コミュニティバスは、運行開始以降は増加傾向にあったが、近年は減少傾向であり、コロナ禍でさらに強まった。
- ・ すまいるバスも同様に減少傾向だが、運行時間帯や便数の見直しにより1便当たりの輸送人員は若干回復。
- ・ 乗合・デマンドタクシーの輸送人員は、路線の新設などで増加傾向にあったものの、コロナ禍で減少。

2-3 計画の方針と目標指標

- 計画の方針
都市交通戦略の施策パッケージに沿って設定。
嶺北地域公共交通計画の施策に対応する施策パッケージを追加。



- 目標指標（必須指標）
 - ・ 公共交通利用者数の増加（路線バス、すまいるバス、地域コミュニティバス、地域バス）
 - ・ 収支率（額）の改善（路線バス、すまいるバス、地域コミュニティバス、地域バス）
 - ・ 公共交通に係る行政負担額の削減（または維持）
- 目標指標（任意指標）
 - ・ 夜の時間帯でのすまいるバス利用者数増加（北ルート）
 - ・ すまいるバス利用者数前年比増加（西ルート）
 - ・ 朝の時間帯でのすまいるバス利用者数増加（東・南ルート）
 - ・ 高齢者の足の確保のため地域の多様な輸送資源の活用例の増加
 - ・ 住民と協働したモビリティ・マネジメント（MM）の取組増加
 - ・ 駅・主要バス停における待合環境整備数の増加

都市交通戦略での課題

都市交通戦略の施策パッケージ

福井市地域公共交通計画における取組内容

課題1 人口減少・高齢化への対応と 自動車依存からの脱却

- まちなか地区へ人を呼び戻す
- 高齢者の免許返納支援
- 自動車依存からの脱却

課題2 北陸新幹線福井開業へ向けた 公共交通の充実

- 増加する観光・ビジネス交通に対応する公共交通の利用環境整備・向上
- 並行在来線の利便性向上、地域による維持存続

課題3 「全域交通ネットワーク」の 更なる充実

- 中心市街地と地域拠点間や地域毎の目指すべき公共交通サービス水準の維持・確保
- 路線バスやフィーダー交通を活用した公共交通空白地域への対応
- 環境にやさしいまちづくりへの貢献

課題4 地域拠点、乗継拠点の整備

- 地域拠点、乗継拠点の整備
- 交通結節点としての機能強化

課題5 公共交通利用環境の向上

- キャッシュレス化、Ma a Sの導入検討
- 待合環境の改善
- バスの定時性確保
- 市中心部の適正なバス路線の配置
- 公共交通の担い手の確保

課題6 モビリティ・マネジメント

- NPOや交通事業者などの多様な主体と協働した働きかけによる利用者の意識改革

1 選択性のある都市交通利用環境の構築

1 市域全体をカバーする地域公共交通網の形成

- ・南北幹線軸（鉄道）の維持・確保のための、行政による支援、及び鉄道の安定的な運営のための利用促進
- ・東西幹線軸（鉄道、バス）の追加、維持・確保のための、行政による支援、及びバスの安定的な運営のための利用促進 等

2 新しい時代を迎える地域鉄道の利便性向上

- ・地域鉄道の連携による利便性向上
- ・地域拠点、乗継拠点の駅での待合環境の充実 等

3 フィーダー交通の効率的配置による 地域内移動手段の確保と利便性向上

- ・フィーダー交通の見直し（フルデマンド化や効率的な路線の統廃合等）
- ・生活の足を確保するための超小型モビリティ、自動運転車両等の研究 等

4 市中心部のバス路線網の見直し

- ・すまいるバスのダイヤ・ルートを含めたバス路線網の効率化
- ・福井駅周辺でのお買い物と連動した公共交通利用 促進策の検討 等

5 公共交通を維持するための取組み

- ・駅周辺でのイベント等の開催
- ・高齢者等への公共交通機関の利用方法の周知による外出機会の創出 等

6 北陸新幹線福井開業に伴う交流人口（観光・ビジネス等）への対応

- ・東口の観光案内所の整備と西口のまちなか案内所との連携
- ・福井駅等における地域鉄道、バス、タクシー乗場、観光案内所等へのサインの充実 等

7 道路交通の円滑化

- ・バスロケーションシステムの整備拡充
- ・路線バスの遅延分析と対策 等

8 自転車利用の推進

- ・自転車活用の推進を踏まえた計画の策定
- ・まちなか、拠点等におけるシェアサイクル（レンタサイクル）の拡充 等

- ・国・県との協調による幹線系統の輸送量確保
- ・乗合タクシー・デマンド交通及び地域の多様な輸送資源による足の確保（超小型モビリティ、高齢者施設車両など）
- ・地域鉄道の安定経営に向けた支援
- ・異常気象時の早期運行確保

- ・地域鉄道の事業連携による効率化

- ・乗合タクシー・デマンド交通及び地域の多様な輸送資源による足の確保（超小型モビリティ、高齢者施設車両など）【再掲】
- ・フィーダー交通再編による路線の効率化
- ・地域コミュニティバス、地域バスに関する導入・運営ガイドラインの作成

- ・輸送量のモニタリング等によるデータに基づいたバス路線の改善
- ・人口増加地区における運行本数・ダイヤ強化による利便性向上
- ・運行設定時間の見直しによる遅れにくいバスダイヤの実現
- ・すまいるバスの運行計画の変更
- ・すまいるバスの運賃の適正化

- ・車との共存を図る公共交通の利用促進
- ・来街者、観光客に分かりやすい案内サインの充実
- ・商業施設とタイアップした利用促進事業の検討
- ・経営努力が反映できるインセンティブ補助の創設
- ・運転士・整備士確保の支援
- ・市内路線バスにおけるEVバス導入

- ・駅・主要バス停における待合環境の向上の整備
- ・市内フィーダー交通における交通系ICカード導入
- ・観光型Ma a S、魅力的な商品企画
- ・公共交通による観光モデルルートの設定
- ・公共交通ポータルサイトによる情報発信
- ・新幹線発着に合わせた二次交通ダイヤ設定
- ・主要拠点・観光地を結ぶバス・定額タクシー
- ・鉄道・バスを乗り継ぐ周遊きっぷの企画
- ・来街者、観光客に分かりやすい案内サインの充実【再掲】

- ・スマートフォンなどにおける路線バス位置情報のリアルタイム発信（GTFS-RT）

- ・まちなかや観光拠点等における「ふくチャリ」の拡充

都市交通戦略での課題

都市交通戦略の施策パッケージ

福井市地域公共交通計画における取組内容

課題1
人口減少・高齢化への対応と
自動車依存からの脱却

- まちなか地区へ人を呼び戻す
- 高齢者の免許返納支援
- 自動車依存からの脱却

課題2
北陸新幹線福井開業へ向けた
公共交通の充実

- 増加する観光・ビジネス交通に対応する公共交通の利用環境整備・向上
- 並行在来線の利便性向上、地域による維持存続

課題3
「全域交通ネットワーク」の
更なる充実

- 中心市街地と地域拠点間や地域毎の目指すべき公共交通サービス水準の維持・確保
- 路線バスやフィーダー交通を活用した公共交通空白地域への対応
- 環境にやさしいまちづくりへの貢献

課題4
地域拠点、乗継拠点の整備

- 地域拠点、乗継拠点の整備
- 交通結節点としての機能強化

課題5
公共交通利用環境の向上

- キャッシュレス化、MaaSの導入検討
- 待合環境の改善
- バスの定時性確保
- 市中心部の適正なバス路線の配置
- 公共交通の担い手の確保

課題6
モビリティ・マネジメント

- NPOや交通事業者などの多様な主体と協働した働きかけによる利用者の意識改革

2 拠点への機能の集積とモビリティの改善による
持続可能な地域の形成

- 1 地域拠点に求められる都市機能、生活サービス機能の誘導等
 - ・地域拠点における地元生産者による農作物等の販売所の設置
 - ・地域拠点における高齢者が気軽に集える通いの場の整備 等
- 2 地域拠点等におけるモビリティ（移動のしやすさ）の改善
 - ・パーク&ライド（バスライド）駐車場、サイクル&ライド（バスライド）自転車駐車場、待合環境の整備、及び支援
 - ・鉄道駅、拠点における基幹バス停、パーク&ライド駐車場や乗継情報等の見える化に向けた環境整備 等
- 3 まちなかを快適に回遊できる環境の構築
 - ・福井駅前電車通り北地区（A街区）第一種市街地再開発事業
 - ・案内サインの充実（サインの設置・整備、デジタルサイネージの整備等） 等

・駅周辺への都市機能・居住誘導

・駅・主要バス停における待合環境の向上の整備【再掲】
・他モードとのダイヤ接続の向上
・カーシェア、シェアサイクル【再掲】
・パーク・アンド・ライド駐車場・駐輪場整備

・新幹線駅前広場や周辺の賑わい、おもてなし空間の創出、歩いて楽しめる空間づくり
・来街者、観光客に分かりやすい案内サインの充実【再掲】

3 公共交通機関のシームレス化の推進

- 1 運賃のキャッシュレス決済の導入検討
 - ・運賃のキャッシュレス決済の導入検討
- 2 MaaS（Mobility as a Service）の導入
 - ・日常生活型MaaSの導入検討
 - ・ふくい嶺北連携中枢都市圏全体でのMaaSによる交通システムの構築 等

・市内フィーダー交通における交通系ICカード導入【再掲】

・生活型MaaSの導入
・観光型MaaS、魅力的な商品企画【再掲】

嶺北地域公共交通計画に対応する施策パッケージ

4 新幹線開業に向けた楽しく移動しやすい公共交通の実現

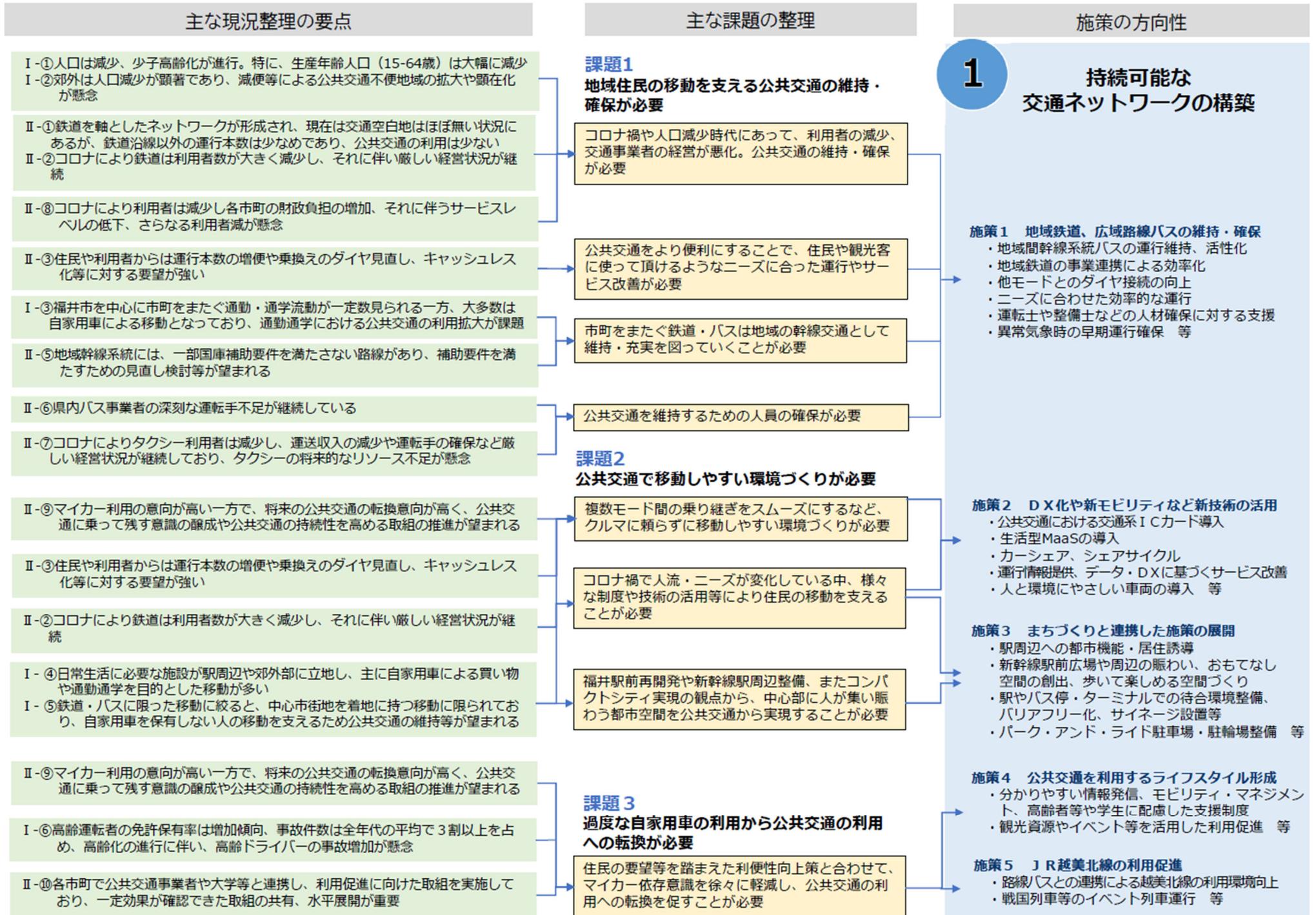
- 1 JR越美北線の利用促進
 - ・路線バスとの連携による越美北線の利用環境向上
 - ・戦国列車等のイベント列車運行
- 2 エンタメ交通の推進
 - ・地域の観光資源と連動したイベント列車等の運行
 - ・観光列車、ラッピング車両等の導入
 - ・位置情報と連動した観光情報の提供、デジタルスタンプラリーの実施
 - ・観光型MaaS、魅力的な商品企画【再掲】
 - ・まちなかや観光拠点等における「ふくチャリ」の拡充【再掲】

・路線バスとの連携による越美北線の利用環境向上
・戦国列車等のイベント列車運行

・地域の観光資源と連動したイベント列車等の運行
・観光列車、ラッピング車両等の導入
・位置情報と連動した観光情報の提供、デジタルスタンプラリーの実施
・観光型MaaS、魅力的な商品企画【再掲】
・まちなかや観光拠点等における「ふくチャリ」の拡充【再掲】

3. 今後のスケジュール（案）について

	令和4年度	令和5年度
地域公共交通計画	<p>計画の目的や期間、対象区域 福井市の現状整理</p> <p>計画の方針と目標指標 目標達成のために行う事業（素案）</p>	<p>計画骨子案</p> <p>計画案</p> <p>パブコメ</p> <p>計画案の承認</p>
アンケート調査	<p>準備</p> <p>実施</p> <p>分析</p>	
すまいるバスルート・ダイヤ見直し	<p>ルート案・ダイヤ案の 検討・協議</p>	<p>最終協議</p> <p>本格運行</p>
協議会	<p>第2回（令和4年8月19日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井市地域公共交通計画について 福井市の現状について アンケート調査について <p>第3回（令和5年2月7日） 今回協議</p> <ul style="list-style-type: none"> すまいるバスアンケート調査結果について 福井市地域公共交通計画の方向性について 	<p>第4回</p> <ul style="list-style-type: none"> すまいるバスルート・ダイヤの 検討・最終協議 計画骨子案の協議 <p>第5回</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画案の協議 <p>第6回</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画案の承認



主な現況整理の要点

- II-①北陸新幹線の金沢～敦賀間開業に伴い、東京～福井間2時間53分(34分短縮)。経済波及効果は約300億円を超え、交流人口が78.5万人増加すると予測されるなど、地域に大きなインパクトをもたらす
- II-②新幹線駅から各観光地に向かう二次交通は、鉄道及び路線バス、直通・特急バスなどが整備・運行されている
多くが福井駅から放射状に伸びており、観光地間を結ぶ周遊・回遊性の点で、なお強化の余地が残る
- II-③コロナにより鉄道及びバスは利用者数が大きく減少し、それに伴い厳しい経営状況が継続
- II-④コロナによりタクシー利用者は減少し、厳しい経営状況が継続しており、少人数の多様な移動を支えるタクシーの将来的なリソース不足が懸念
- II-⑤コロナにより観光入り込み客数は減少したものの若干回復しており、北陸新幹線開業に伴い、さらなる増加が期待

主な課題の整理

課題4

新幹線の開業効果を全県に波及させるため、様々な交通を有機的に結合させることが必要

- 観光地において、回遊性の向上により各地での滞在及び街歩きをやすくする方が必要
- 公共交通で移動が可能であることを最大限アピールし、行きやすさ、分かりやすさを向上させることで利用を増やす取組が必要
- コロナ禍で人流が減少している中、公共交通機関の維持・活性化に向け、新幹線客の受け入れ体制を強化することが必要
- 複数モード(鉄道・バス・タクシー)を乗り継ぎ、円滑に各地へ訪問できる輸送体系の確立が必要
- 福井での魅力を観光周遊を通じて体感してもらうため、複数の観光地を円滑かつお得に回ってもらうためのコンテンツが必要

課題5

公共交通自体の魅力を向上させ、「乗ってみたくなる」ような価値を高めることが必要

- 移動中も楽しめるアクティビティや車窓からの魅力ある景色等の活用により公共交通に対する興味関心を高め、利用者増を図ることが必要
- 賑わいを生み出すイベントやストーリーのある観光コンテンツなどの魅力づくり、県内各地への周遊を促す仕組みが必要

施策の方向性

2

新幹線駅からの利便性の高い二次交通の整備

施策6 北陸新幹線の各駅からの二次交通の充実

- ・新幹線発着に合わせた二次交通ダイヤ設定
- ・主要拠点・観光地を結ぶバス・定額タクシー
- ・鉄道・バスを乗り継ぐ周遊きっぷの企画
- ・新幹線駅から観光地に向かう移動手段の分かりやすさ向上
- ・公共交通における交通系ICカード導入(再掲)等

施策7 複数の交通モードの一体的な乗継サービスの提供

- ・観光型MaaS、魅力的な商品企画
- ・公共交通による観光モデルルートの設定
- ・公共交通ポータルサイトによる情報発信等

3

公共交通での移動を楽しめる仕掛けづくり

施策8 エンタメ交通の推進

- ・地域の観光資源と運動したイベント列車等の運行
- ・観光列車、ラッピング車両等の導入
- ・位置情報と運動した観光情報の提供、デジタルスタンプラリーの実施等

参考) 福井市都市交通戦略の実施プログラム一覧

①-② 夫加ノロソフムー見

実施項目	実施施策	短期			中期			長期			実施関係機関
		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	
① 選択性のある都市交通利用環境の構築											
①-1	市域全体をカバーする地域公共交通網の形成	南北幹線軸（鉄道）の維持・確保のための、行政による支援、及び鉄道の安定的な運営のための利用促進 東西幹線軸（鉄道、バス）の追加、維持・確保のための、行政による支援、及びバスの安定的な運営のための利用促進 フィーダー交通の拡充									交通事業者、国、福井県、沿線自治体 交通事業者、国、福井県、沿線自治体 交通事業者、福井市
①-2	新しい時代を迎える地域鉄道の利便性向上	地域鉄道の連携による利便性向上 地域拠点、乗継拠点の駅での機能向上の推進 地域拠点、乗継拠点の駅での待合環境の充実 利用者のニーズを考慮したダイヤ設定 並行在来線新駅設置の検討 地域公共交通計画の策定（えちぜん鉄道、福井鉄道） 福井鉄道の福井駅へのアクセス向上の検討 JR越美北線の交通事業者や県、大野市と連携した利用促進									交通事業者、福井県、沿線自治体 交通事業者、沿線自治体 交通事業者、福井県、福井市 交通事業者、福井県、沿線自治体 交通事業者、福井市 交通事業者、福井県、沿線自治体
①-3	フィーダー交通の効率的配置による地域内移動手段の確保と利便性向上	フィーダー交通の見直し（フルデマンド化や効率的な路線の統合等） 生活の足を確保するための超小型モビリティ、自動運転車両等の研究 公共交通空白地域、不便地域におけるタクシー（一般）活用の推進									交通事業者、福井市 福井市、地域住民、交通事業者、民間事業者、教育機関 等 交通事業者
①-4	市中心部のバス路線網の見直し	すまいるバスのダイヤ・ルートを含めたバス路線網の効率化 見直し路線における路線バスの基準を踏まえた運賃の適正化 福井駅周辺でのお買い物と連動した公共交通利用促進策の検討									交通事業者、福井市 交通事業者、福井市 交通事業者、民間事業者、福井市
①-5	公共交通を維持するための取組み	〔日常利用者〕通勤通学時の公共交通利用のPR（学校、企業等） 〔地域住民〕公共交通とまちづくりや観光おもてなしに向けた意識啓発と利用促進 〔地域住民〕地域毎での「目的地」への地域の公共交通活用パンフレット等の作成 〔地域住民〕電車・バス・タクシーに関わる人材確保 〔商業者等〕駅周辺でのイベント等の開催 〔商業者等〕商業施設、公共施設等との連携による公共交通の利用促進 〔高齢者等〕高齢者等への公共交通機関の利用方法の周知による外出機会の創出 〔高齢者等〕交通事業者による認知症サポーター養成講座受講の推進 〔高齢者等〕免許返納に関する啓発や支援による高齢者の運転免許自主返納の促進									福井県、福井市、交通事業者、市民団体、民間事業者 福井市、交通事業者、地域住民、市民団体、教育機関 等 地域住民、福井市、交通事業者、教育機関 等 交通事業者、国、福井県、福井市 市民団体、民間事業者、交通事業者、福井市、教育機関 等 交通事業者、民間事業者 福井市、交通事業者、地域住民、市民団体 福井市、交通事業者、地域住民 福井県、福井市、交通事業者、市民団体
①-6	北陸新幹線開業に伴う交流人口（観光・ビジネス等）への対応	東口の観光案内所の整備と西口のまちなか案内所との連携 福井駅を起点とした市内外の観光地等と接続する交通手段、及び情報提供の充実 鉄道駅、路線バス乗り場における観光地への路線情報の充実（福井駅以外の駅等も含む） 福井駅等における地域鉄道、バス、タクシー乗場、観光案内所等へのサインの充実 観光バスの発着場所、及び待機場所の整備 公共交通を活用した地域の魅力を高める観光企画の充実 北陸新幹線福井開業に伴う観光型MaaSの導入検討									福井市、福井県 交通事業者、福井市、沿線自治体 交通事業者、沿線自治体 交通事業者、福井市 福井県、福井市 交通事業者、民間事業者、福井市、福井県 交通事業者、民間事業者、福井市、福井県
①-7	道路交通の円滑化	時差出勤、リモートワークの推進 計画的な幹線道路の整備や交差点の改良 消雪装置の計画的な整備、除雪の実施 バスロケーションシステムの整備拡充 バスナビによる運行情報の提供 路線バスの遅延分析と対策 運賃のキャッシュレス決済の導入検討 路面電車区間道路の走行空間の拡幅（外側線の引き直し） 路面電車区間道路の右折だまりの着色化 自転車活用の推進を踏まえた計画の策定									民間事業者 道路管理者 道路管理者 交通事業者、福井市 交通事業者 福井市、交通事業者、道路管理者、警察 交通事業者、福井県、沿線自治体 道路管理者、交通事業者 道路管理者、交通事業者
①-8	自転車利用の推進	地域拠点、乗継拠点等の主要な駅、バス停におけるサイクル&ライド（バスライド）自転車駐車場の確保 地域拠点、乗継拠点周辺での「自転車の駅」の拡充 まちなか、拠点等におけるシェアサイクル（レンタサイクル）の拡充 安全な自転車通行空間の整備									福井市 交通事業者、福井市 福井市、民間事業者 福井市、民間事業者 福井市、道路管理者
② 拠点への機能の集積とモビリティの改善による持続可能な地域の形成											
②-1	地域拠点に求められる都市機能、生活サービス機能の誘導等	地域拠点における店舗等の開業への支援 地域拠点における地元生産者による農作物等の販売所の設置 地域拠点における高齢者が気軽に集える通いの場の整備（SC等でのサロン、よろず茶屋等） 公共施設の新設、移設における地域拠点への設置検討 地域拠点における観光振興のための既存施設の有効活用（越前海岸、越前地区） 中心市街地、地域拠点を含む、居住誘導区域での住宅取得等への支援									福井市 福井市、地域住民、民間事業者、市民団体 等 福井市、地域住民、民間事業者、市民団体 等 福井市 福井市、地域住民、民間事業者、市民団体 等 福井市
②-2	地域拠点等におけるモビリティ（移動のしやすさ）の改善	フィーダー交通の見直し（フルデマンド化や効率的な路線の統合等） パーク&ライド（バスライド）駐車場、サイクル&ライド（バスライド）自転車駐車場、待合環境の整備、及び支援 既存施設を利用したパーク&ライド（バスライド）駐車場、サイクル&ライド（バスライド）自転車駐車場や待合環境の整備、及び支援 バスロケーションシステムの整備拡充 地域拠点周辺の道路における歩行空間や自転車通行空間の整備 まちなか、拠点等におけるシェアサイクル（レンタサイクル）の拡充 地域拠点におけるカーシェアポートの設置、及び支援とカーシェアを利用した観光情報の提供 鉄道駅、拠点における基幹バス停、パーク&ライド駐車場や乗継情報等の見える化に向けた環境整備									交通事業者、福井市 交通事業者、福井市、民間事業者 民間事業者、交通事業者、福井市 交通事業者、福井市 福井市、道路管理者 福井市、民間事業者 民間事業者、福井市 福井市、交通事業者
②-3	まちなかを快適に回遊できる環境の構築	福井駅前電車通り北地区（A街区）第一種市街地再開発事業（広場の整備/歩道状空地/住宅/駐車場） 福井駅前電車通り北地区（B街区）第一種市街地再開発事業（広場の整備/歩道状空地/住宅） 福井駅前南通り地区第一種市街地再開発事業（広場の整備/歩道状空地/住宅/駐車場） 中央1丁目10番地地区優良建築物等整備事業（通路/歩道状空地等/住宅） 福井城址周辺整備事業 道路の高質化等の推進 案内サインの充実（サインの設置・整備、デジタルサイネージの整備等） 駅周辺の駐車場情報の発信強化									民間事業者 民間事業者 民間事業者 民間事業者 福井市 福井市 福井市、民間事業者 民間事業者
③ 公共交通機関のシームレス化の推進											
③-1	運賃のキャッシュレス決済の導入検討	運賃のキャッシュレス決済の導入検討									交通事業者、福井県、沿線自治体
③-2	MaaS（Mobility as a Service）の導入	北陸新幹線福井開業に伴う観光型MaaSの導入検討 A1オンデマンドタクシー、及びアプリの導入・普及 日常生活型MaaSの導入検討 ふくい圏北運携中核都市圏全体でのMaaSによる交通システムの構築									交通事業者、民間事業者、福井市、福井県 交通事業者 交通事業者、ふくい圏北運携中核都市圏の各市町、福井県 等 交通事業者、ふくい圏北運携中核都市圏の各市町、福井県